システムログラミング || 令和2年度 前期中間試験

番 氏名 模範解答 (2022.06.06 重村 哲至) IE4

(3) にデータを溜め (4) システムコー

語句に関する問題

高水準 I/O は,

空欄に最適な言葉を語群から記号で答えなさい。 (1点×20間=20点)

実行中のユーザプログラムのことを (1) と呼ぶ. (1) は (2) を発行し OS(カーネル) に処理を依頼する.

ルの回数を少なくする. fopen 関数は (5) システムコールを 発行しファイルを開いた上で、FILE 構造体を割り付ける. ファイルは (6) に格納された (7) のデータ記憶である. ファイルを格納するファイル木は, (8) ディレクトリを根と する有向の木構造である. ファイル木の中でユーザの現在位 置は (9) ディレクトリ,ログインした直後の (9) ディレク トリは (10) ディレクトリ, あるディレクトリから見て根に近 い側のディレクトリは (11) ディレクトリと呼ばれる.ファ イル木でファイルの位置はパスによって表現できる. (8)

ディレクトリを起点とするパスは|(12)|パス,|(9)|ディレク

トリを起点とするパスは (13) パスと呼ばれる. シグナルは (1) に (14) 的にイベントの発生を知らせせる OS の仕組みである. | (1) |はシグナルの扱いであるシグナ ν (15) を予め決めることができる. シグナル (15) は (16) システムコールを用いてシグナルの種類毎に決める。シグナ ルを (17) するためにはハンドリング関数を (16) に渡す. シ グナルを (18) するためにはハンドリング関数のかわりに定 数 SIG_IGN を渡す. | (1) |が他の| (1) |にシグナルを送信す るには (19) システムコールを用いる.システムコールで相

語群:(あ)kill, (い)open, (う)read/write, (え)signal,

- (お) カレント, (か) システムコール, (き) バッファ,
- (く) ハンドリング, (け) プロセス, (こ) プロセス番号,
- (さ) ホーム, (し) ルート, (す) 親, (せ) 絶対, (そ) 相対,
- (た) 二次記憶装置 (ストレージ), (ち) 同期, (つ) 非同期,
- (て) 不揮発性, (と) 補足, (な) 無視

手 (1) の指定には (20) を用いる.

(1)	(け)	(2)	(か)	(3)	(き)	(4)	(う)
(5)	(6)	(6)	(た)	(7)	(て)	(8)	(し)
(9)	(お)	(10)	(3)	(11)	(す)	(12)	(せ)
(13)	(そ)	(14)	(つ)	(15)	(<)	(16)	(え)
(17)	(と)	(18)	(な)	(19)	(あ)	(20)	(3)

実行結果

- 1. 次の実行例で最初の5行は正常に実行できるも のとします。6行目以降でエラーになる行の右の 四角に「×」、そうではない行に「○」を記入し なさい。(2点×16間=32点)
 - \$ mkdir A
 - \$ cd A
 - \$ mkdir X
 - \$ mkdir Y
 - \$ echo abc > X/a.txt
 - \$ ln X/a.txt Y/1.txt
 - \$ ln ../X/a.txt Y/2.txt
 - \$ ln -s X/a.txt Y/3.txt
 - \$ ln -s ../X/a.txt Y/4.txt

 \bigcirc

 \bigcirc

×

- \$ cat Y/1.txt
- \$ cat Y/2.txt
- \$ cat Y/3.txt

- \$ cat 3.txt
- \$ cat 4.txt
- × \$ cat Y/4.txt \$ mv Y/1.txt ./1.txt \$ mv Y/2.txt ./2.txt \$ mv Y/3.txt ./3.txt \$ mv Y/4.txt ./4.txt \$ cat 1.txt \$ cat 2.txt ×
- 2. 付録の実行例 1 の空欄 (#(?)#) の表示を答えな さい. (3 点×6 間=18 点)

(1)	4			
(2)	-rwxrr			
(3)	-rw-rw-r			
(4)	/Users/sige/A/B			
(5)	/Users/sige			
(6)	/Users/sige			

システムログラミング || 令和2年度 前期中間試験

(2022.06.06 重村 哲至) IE4 番 **氏名 模範解答**

3. 付録のプログラム p1.c を読み, 実行例 2 の空欄 (#(?)#) の表示を答えなさい. (3 点×3 問=9 点)

(1)	-rw-rr
(2)	11
(3)	abc
	abcabc

4. 付録のプログラム p2.c, p3.c を読み, 実行例 3, 4 の空欄 (#(?)#) の表示を答えなさい。(3 点×2 問=6 点)

```
(1) b.txt
(2) b.txt
```

5. 次は付録のプログラム p4.c の実行例です. ターミナル1で実行した p4 をターミナル2だけ操作して終了させました. 空欄に入力したコマンドを答えなさい. (5点)

```
ターミナル1

$ ./p4

Ctrl-Cが押されるまで待ちます

Ctrl-Cが押されました

$
```

```
ターミナル2

$ ps

PID TTY TIME CMD

46752 ttys001 0:00.00 ./p4

91249 ttys001 0:00.65 -zsh

46754 ttys002 0:00.05 -zsh

$ ###(1)###

$
```

(1) | kill -INT 46752

3 プログラムの完成

次のプログラムの 2 つの printf の間に 3 行追加し、 最初の printf の実行後 5 秒間スリープし、第 2 の printf を実行して終了するように完成しなさい。(10 点)

```
// p5.c
#include <stdio.h>
#include <signal.h>
#include <unistd.h>
void h(int n){}
int main() {
  printf("5 砂待ちます\n");

  signal(SIGALRM, h);

  alarm(5);

  pause();

  printf("5 砂経過しました\n");
  return 0;
}
```

システムログラミング || 令和2年度 前期中間試験

(2022.06.06 重村 哲至) IE4 ____**番 氏名 模範解答**

付録

```
実行例1
$ echo bbb > b.txt
$ ls -l b.txt
-rw-r--r-- 1 sige staff #(1)# Jun 4 21:00 b.txt
$ chmod u+x b.txt
                             # цは所有者の意味
$ ls -l b.txt
###(2)#### 1 sige staff #(1)# Jun 4 21:00 b.txt
$ chmod 664 b.txt
$ ls -1 b.txt
###(3)#### 1 sige staff #(1)# Jun 4 21:00 b.txt
/Users/sige/A
$ mkdir B
$ cd B
$ pwd
###(4)####
$ cd ../..
$ pwd
###(5)####
$ cd .
$ pwd
###(6)####
```

```
実行例2
$ ls -l a.txt
ls: a.txt: No such file or directory
$ ./p1 a.txt
$ ls -l a.txt
###(1)### 1 sige staff #(2)# Jun 4 22:25 a.txt
$ cat a.txt
###(3)### # 複数行の可能性あり
$
```

```
実行例3
$ ls *.txt
a.txt b.txt
$ ./p2 a.txt b.txt
$ ls *.txt
###(1)####
$
```

```
実行例4
$ ls *.txt
```

```
a.txt b.txt
$ ./p3 a.txt b.txt
$ ls *.txt
###(2)####
$
```

```
// p2.c
#include <unistd.h>
int main(int argc, char *argv[]) {
   unlink(argv[2]);
   link(argv[1], argv[2]);
   unlink(argv[1]);
   return 0;
}
```

```
// p3.c
#include <stdio.h>
int main(int argc, char *argv[]) {
  rename(argv[1], argv[2]);
  return 0;
}
```

```
// p4.c
#include <stdio.h>
#include <signal.h>
#include <unistd.h>
void h(int n){}
int main() {
  signal(SIGINT, h);
  printf("Ctrl-Cが押されるまで待ちます\n");
  pause();
  printf("Ctrl-Cが押されました\n");
  return 0;
}
```